

ボッシュ、後付け eCall 用デバイスを使い、 福岡市のテレマティクス実証実験に参加 ドライバーの運転行動データを可視化させ、 福岡市の交通安全向上計画達成への貢献を目指す

2018 年 1 月 16 日
C/CCR-JP-2018-01

- ▶ ボッシュのセンサーテクノロジーとデータ解析により運転行動データを可視化
- ▶ 福岡市の交通安全に寄与するソリューション実現の可能性
- ▶ eCall(自動緊急通報)や保険料の引き下げが可能になるコネクテッドサービス

東京 – グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは、加減速やハンドル操作といった運転行動に関するデータを収集するドングルを使って、福岡市が IoT 向け通信ネットワークを検証する実証実験に参加します。

ボッシュが開発したシガーソケットに差し込む後付け eCall 用デバイス「テレマティクス eCall プラグ(通称名:ドングル)」(図 1、2)には、3 軸の加速度センサーとセンサーが検知したデータを計算するアルゴリズムが組み込まれており、ブレーキ、加減速、ハンドル操作といった運転行動データだけでなく、衝突事故を検知することができます。専用のスマートフォンアプリとドングルが通信することで、収集されたデータがアプリ経由でサービスプロバイダーのもとへ送信されます。これにより、ドライバーの運転行動情報を収集したり、衝突事故が起きた際に自動でコールセンターへ通報する eCall(自動緊急通報)の提供が可能になります。ボッシュのテレマティクス eCall プラグは、2018 年後半には米国でも販売される予定です。

今回の実証実験では、約 100 名のモニターとなるドライバーを募集し、ドングルを搭載したうえで、最大 2 ヶ月間運転行動データを収集します。実証実験で収集されたデータを解析することで、運転行動の可視化が可能になり、急ブレーキ多発地帯のハザードマップを作成するなど交通安全の向上に寄与するサービスが実現する可能性があります。実証実験により収集されたデータは、福岡市が策定した第 10 次福岡市交通安全計画達成に貢献するため、福岡市に提供されます。この実証実験には、ジャパンステム株式会社とソフトバンク株式会社がパートナーとして参加します。ボッシュ株式会社はドングルとデータを解析するソリューションを提供し、ジャパンステム

株式会社は収集したデータの可視化を担います。ソフトバンク株式会社は、今回の実証実験の結果をもとにデータを用いたサービスの開発を検討します。

モニター募集要項

- 応募フォーム: <https://www8.webcas.net/form/pub/japansys/fukuoka>
- 応募資格: 運転免許証を所有し、福岡市在住で日頃から運転にご協力して頂ける方で且つ、利用可能なスマートフォン iPhone をお持ちの方となります。尚、提供するアプリは、iOS10.0 以上に対応しています。
- 募集期限: 2018 年 2 月末
※ 但し、期限内で定員に達した場合、募集を締め切りさせていただきます。
- 募集人員: 100 名
- 実施期間: 2018 年 2 月 10 日(土)～4 月 22 日(日)まで

報道関係対応窓口:

舟田 直美

松本 有可

電話: 03-5485-3393

日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、ボッシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FAモジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ボッシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスペクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2016年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約2,670億円で、従業員数は約6,600人です。

世界のボッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2016年の売上高は439億ユーロで、総売上高の60%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle (車車間)およびVehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブ アフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2016年の従業員数は約39万人(2016年12月31日現在)、2016年の売上高は731億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドマニュファクチャリングに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドドライブに向けたソリューションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートス

ローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 120 の拠点で約 5 万 9,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)